

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年06月13日

計画の名称	盛岡市における健全な水環境・良好な水循環の創出														
計画の期間	平成27年度～平成29年度（3年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	盛岡市														
計画の目標	下水道整備を行なうことにより、公共用水域の水質保全、衛生的な水環境、安全な生活環境を創造する。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）			1,632	A	1,632	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H27当初）	（H29末）	（H29末）
1	下水道処理人口普及率を88.4％（H27）から88.7％（H29）に増加させる。			
	下水道処理人口普及率	88％	89％	89％
	下水道を利用できる人口（人）／行政人口（人）			
2	合流式下水道改善率を56.3％（H27）から100％（H29）に増加させる。			
	合流式下水道改善率	56％	100％	100％
	合流式下水道整備済み面積（ha）／合流区域面積（ha）			

備考等		個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
1	（H27当初）259,120人／292,980人	（H29末）259,033人／291,970人	2	（H27当初）279ha／496ha	（H29末）496ha／496ha	（H29末）496ha／496ha							

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	盛岡市	直接	盛岡市	管渠（ 汚水）	新設	汚水管渠の整備（都南処 理区）	L = 11.1km	盛岡市	■	■	■			1,552	-	-
	A07-002	下水道	一般	盛岡市	直接	盛岡市	管渠（ 合流）	新設	遮集管の整備（都南処理 区）	L=0.1 k m	盛岡市			■			80	-	-
											小計						1,632		
											合計						1,632		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
下水道処理人口普及率に関しては、盛岡市上下水道局内の下水道事業計画策定委員会において、進捗状況及び今後の予定等の説明を行い意見を伺った。 また、合流式下水道改善率に関しては、学識経験者や市民により構成された「盛岡市合流式下水道緊急改善事業アドバイザー会議」において、目標の達成状況や今後の方針等を報告し意見を伺った。	令和7年度
	公表の方法 市のホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・下水道整備普及率が88.4%から89.2%に増加し、目標どおり未普及地域の解消を進めることが出来た。 ・合流式下水道改善率が56.3%から100%に増加し、目標どおり合流式下水道の改善対策を進めることが出来た。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

・公衆衛生の向上や公共用地域の水質保全を図るため、次期社会資本総合整備計画（H30年度からR4年度の5ヵ年）においても引き続き公共下水道の整備を行い、下水道の普及促進に努める。 ・雨天時高速下水処理システムにおいて実施している水質調査結果や新技術の動向に注視し、対策施設の適正な維持管理に努める。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	計画に対し下水道を整備した面積の割合		
	最 終 目標値	89%	
	最 終 実績値	89%	
2	計画に対し改善した合流式下水道の割合		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	